

自動制御の多分野応用小委員会（第24期・第1回）議事録

日時：平成30年5月9日（水）16:00～18:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス南5号館2階207室

出席（順不同・敬称略）全19名

水野 毅（埼玉大、委員長）、井村 順一（東工大、副委員長）、藤崎 泰正（阪大、幹事）、浅間 一*（東大）、原 辰次（中央大）、大須賀 公一（阪大）、岡 宏一（高知工科大）、貝原 俊也*（神戸大）、加納 学*（京大）、西村 秀和（慶応大）、増田 士朗（首都大）、山下 善之（東京農工大）（以上12名、内*印3名はSkype）

報告者：東 俊一（名大）、浅井 徹（名大）、江丸 貴紀（北大）

オブザーバ：三平 満司（東工大）、結城 義敬、田中 ひろみ（SICE事務局）、橋口 公美（JSME事務局）

欠席（順不同・敬称略）

榎木 哲夫（京大）、金子 修（電気通信大）佐藤 昌之（JAXA）、田川 泰敬（東京農工大）、山本 透（広島大）（以上5名）

配付資料 1-1	【設置提案書】自動制御の多分野応用小委員会
配布資料 1-2	【自動制御の多分野応用小委員会】名簿
配布資料 2	第60回自動制御連合講演会運営委員会議事録
配布資料 3-1	第60回自動制御連合講演会 開催報告
配布資料 3-2	平成29年度制御工学教員協議会 報告書
配布資料 4-1	第61回自動制御連合講演会 実施計画
配布資料 4-2	平成30年度制御工学教員協議会 計画案
配布資料 5	第62回自動制御連合講演会 実施計画書
参考配布資料	委員会等の議事録要旨の公開等に関するガイドライン（日本学術会議第261回幹事会決定）

1. 役員の選出及び委員会の運営について

審議に先立って、水野毅（埼玉大）委員より、配布資料1-1, 1-2, 2に基づいて本委員会の位置づけ、委員構成、設置目的、審議事項、設置期間及びこれまでの活動の説明があった。

①役員の選出

互選により、水野毅（埼玉大）が委員長に選出された。また委員長により、井村順一（東工大）が副委員長に、藤崎泰正（阪大）が幹事に指名された。

②委員会の運営

本委員会ではメール審議を可能とすることを確認した。また、議事要旨の承認及び公開についても、参考配布資料の5(1)②（メール等で内容を出席者が確認し、議長が承認）に従うことを確認した。また、本委員会の最終回においては、議事録を議長に一任することを承認した。

2. 自動制御連合講演会運営に関する事項

①第60回自動制御連合講演会報告

増田士朗（首都大）委員より、配布資料3-1に基づいて報告があった。

- ・講演数：385件（内OS 271件）
- ・特別講演：2件、特別企画：2件（内1件は日本学術会議IFAC分科会企画）
- ・参加者数：681名、技術交流会参加者数：126名（招待者除く）
- ・一般参加者（ビッグデータ、IoT、AI等の情報収集を目的とした企業のエンジニア）が多かった。

②制御工学教員協議会（2017年）報告

増田士朗（首都大）委員より、配布資料3-2に基づいて報告があった。

- ・教育研究集会：企画1 IFAC2017報告会、企画2「研究力強化への努力」池田雅夫教授（阪大）
- ・総会：前年度の報告があった。次期幹事校は名古屋大学、代表者は浅井徹准教授が選出された。
- ・会員数：会員170名（内新入会8名）、特別会員8名。なお、自然退会4名、退会9名。

③第61回自動制御連合講演会準備状況

東俊一（名大）実行委員長より、配布資料4-1に基づいて報告があった。

- ・開催日程：2018年11月17日（土）～18日（日）

- ・開催場所：南山大学名古屋キャンパス S 棟
- ・幹事学会：システム制御情報学会
- ・参加者数：登録数 500～700、講演件数 300～500 を想定
- ・実行委員会：実行委員長、プログラム委員長 2 名、幹事 1 名、他主催学会選出委員等で構成。
- ・スケジュール：OS 提案締切 7 月 2 日、講演申込締切 8 月 1 日、論文提出期限 9 月 14 日
- ・プログラム：特別講演は袴田武史氏（ispace 社 CEO）

④制御工学教員協議会（2018 年）計画

浅井徹（名大）代表者より、配布資料 4-2 に基づいて報告があった。

- ・教育研究集会、総会とも、自動制御連合講演会の初日 11 月 17 日（土）の昼食時間中に実施予定。
- ・事前に会員に存続に関するアンケートをとり、その結果を踏まえて存続の有無を総会で議論する。

⑤第 62 回自動制御連合講演会計画

江丸貴紀（北大）准教授より、配布資料 5 に基づいて報告があった。

- ・開催日程：2019 年 11 月 4 日（火）～7 日（木）を第 1 案として検討中
- ・開催場所：札幌コンベンションセンターとして検討中
- ・幹事学会：日本機械学会

3. IFAC 分科会の活動について

浅間一（東大）委員より、以下の活動報告があった。

- ・今回の IFAC 2023 を機会として日本制御協議会を発足させたい。その原案は文章として浅間委員側で準備し、各学協会で持ち帰って検討してもらう予定である。
- ・今年の自動制御連合講演会の前日に、名古屋地区にてワークショップを開催予定である。本委員会には、このサポートをお願いしたい。

4. 今後の活動計画

① 制御工学教員協議会のサーバ

岡宏一（高知工科大）委員より、本サーバの維持コストに比べて活用が低調なので、今年度の制御工学教員協議会の総会で廃止についての議案を提出してはどうかという提案があった。

②日韓ワークショップ

原辰次（中央大）委員より、日本で開催される IFAC 2023 および韓国で開催される IEEE CDC 2020 を機会として、アジアのプレゼンスを高めるため、日韓の連携をより深めたい、については 7 月にワークショップを韓国のソウルにて開催するので、この委員会のメンバーにも出席依頼する予定であることのアナウンスがあった。

③過去の自動制御連合講演会の情報

岡宏一（高知工科大）委員より、過去の自動制御連合講演会のホームページや J-STAGE で未公開公開の情報の整理を、今後実施するとよいのではとのコメントがあった。

④次回委員会

水野毅（埼玉大）委員長より、次回委員会は自動制御連合講演会の初日 11 月 17 日（土）に開催予定であるとのアナウンスがあった。

以上